

*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2008年7月17日から2028年11月20日までです。	
運用方針	この投資信託は、主としてブラジルの債券に実質的に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	<UBSブラジル・リアル債券投信(毎月分配型)> UBSブラジル・リアル債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	<UBSブラジル・リアル債券マザーファンド> ブラジルの政府、政府機関もしくは企業等の発行する現地通貨建債券を主要投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	マザーファンドへの投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。(ただし、転換社債の転換請求等により取得した株券に限ります。) 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	原則として、毎決算日に配当等収益および売買益等の中から継続した分配を行うための分配金原資の水準、運用実績および市況動向等を勘案して収益分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないこともあります。	

UBS ブラジル・リアル債券投信 (毎月分配型)

運用報告書 (全体版) (第29作成期)

第165期	決算日	2022年 6月20日
第166期	決算日	2022年 7月20日
第167期	決算日	2022年 8月22日
第168期	決算日	2022年 9月20日
第169期	決算日	2022年10月20日
第170期	決算日	2022年11月21日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「UBSブラジル・リアル債券投信(毎月分配型)」は、去る11月21日に第170期の決算を行いましたので、第165期～第170期(第29作成期)の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号

Otemachi Oneタワー

<お問い合わせ先>

投信営業部

03-5293-3700

<受付時間>

営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く

<http://www.ubs.com/japanfunds>

© UBS 2023. キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

最近5作成期の運用実績

作成期	決算期（決算日）	基準価額 (分配額)	税金 込	み 金	期 騰 落 率	債券組 入率 比	債券先 物率 比	純 資 産 額
		円	円		%	%	%	百万円
第25作成期	141期 (2020年 6月22日)	3,374	25		8.7	98.4	—	13,291
	142期 (2020年 7月20日)	3,356	15	△	0.1	97.6	—	12,817
	143期 (2020年 8月20日)	3,191	15	△	4.5	98.1	—	11,872
	144期 (2020年 9月23日)	3,189	15		0.4	97.5	—	11,587
	145期 (2020年10月20日)	3,103	15	△	2.2	98.5	—	10,985
	146期 (2020年11月20日)	3,225	5		4.1	98.3	—	10,921
第26作成期	147期 (2020年12月21日)	3,383	5		5.1	98.7	—	11,067
	148期 (2021年 1月20日)	3,221	5	△	4.6	98.2	—	10,363
	149期 (2021年 2月22日)	3,243	5		0.8	98.0	—	10,189
	150期 (2021年 3月22日)	3,254	5		0.5	98.1	—	10,051
	151期 (2021年 4月20日)	3,194	5	△	1.7	98.5	—	9,501
	152期 (2021年 5月20日)	3,362	5		5.4	95.1	—	9,596
第27作成期	153期 (2021年 6月21日)	3,541	5		5.5	97.1	—	9,908
	154期 (2021年 7月20日)	3,438	5	△	2.8	94.4	—	9,478
	155期 (2021年 8月20日)	3,281	5	△	4.4	93.9	—	8,962
	156期 (2021年 9月21日)	3,343	5		2.0	93.8	—	8,976
	157期 (2021年10月20日)	3,329	5	△	0.3	95.8	—	8,734
	158期 (2021年11月22日)	3,285	5	△	1.2	95.9	—	8,383
第28作成期	159期 (2021年12月20日)	3,259	5	△	0.6	95.3	—	7,922
	160期 (2022年 1月20日)	3,429	5		5.4	96.2	—	8,181
	161期 (2022年 2月21日)	3,676	5		7.3	95.4	—	8,666
	162期 (2022年 3月22日)	3,996	5		8.8	95.3	—	9,218
	163期 (2022年 4月20日)	4,597	5		15.2	95.0	—	10,322
	164期 (2022年 5月20日)	4,338	5	△	5.5	99.0	—	9,529
第29作成期	165期 (2022年 6月20日)	4,395	5		1.4	99.0	—	9,481
	166期 (2022年 7月20日)	4,269	5	△	2.8	98.2	—	9,108
	167期 (2022年 8月22日)	4,505	5		5.6	96.8	—	9,496
	168期 (2022年 9月20日)	4,751	5		5.6	99.4	—	9,876
	169期 (2022年10月20日)	4,922	5		3.7	99.4	—	9,850
	170期 (2022年11月21日)	4,478	5	△	8.9	98.7	—	8,713

(注1) 基準価額および分配金は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注4) 当ファンドの投資対象市場の値動きを示す適切な指数がないため、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

(注5) 債券組入比率は、当ファンドの追加・解約と有価証券売買の計上タイミングがずれること等により、一時的に100%超の数値となる場合があります。（以下同じ。）

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
			騰 落 率	率		
第165期	(期 首)	円	%	%	%	
	2022年 5月20日	4,338	—	99.0	—	
	5月末	4,501	3.8	99.0	—	
第166期	(期 末)					
	2022年 6月20日	4,400	1.4	99.0	—	
	(期 首)					
第166期	2022年 6月20日	4,395	—	99.0	—	
	6月末	4,415	0.5	99.1	—	
	(期 末)					
第167期	2022年 7月20日	4,274	△2.8	98.2	—	
	(期 首)					
	2022年 7月20日	4,269	—	98.2	—	
第167期	7月末	4,370	2.4	98.6	—	
	(期 末)					
	2022年 8月22日	4,510	5.6	96.8	—	
第168期	(期 首)					
	2022年 8月22日	4,505	—	96.8	—	
	8月末	4,617	2.5	97.2	—	
第168期	(期 末)					
	2022年 9月20日	4,756	5.6	99.4	—	
	(期 首)					
第169期	2022年 9月20日	4,751	—	99.4	—	
	9月末	4,611	△2.9	100.8	—	
	(期 末)					
第169期	2022年10月20日	4,927	3.7	99.4	—	
	(期 首)					
	2022年10月20日	4,922	—	99.4	—	
第170期	10月末	4,851	△1.4	99.0	—	
	(期 末)					
	2022年11月21日	4,483	△8.9	98.7	—	

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

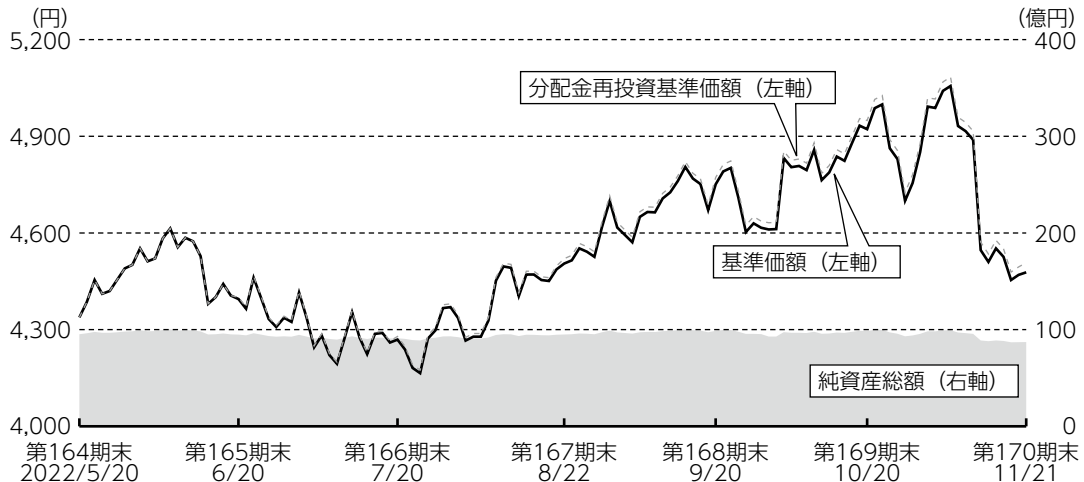
(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注5) 当ファンドの投資対象市場の値動きを示す適切な指数がないため、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

運用経過

基準価額等の推移について

（2022年5月20日～2022年11月21日）



第165期首：4,338円

第170期末：4,478円（既払分配金 30円）

騰落率： 3.9%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

当作成期の基準価額は既払分配金30円（税引前）込みで170円値上がりしました。なお、基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は+3.9%となりました。

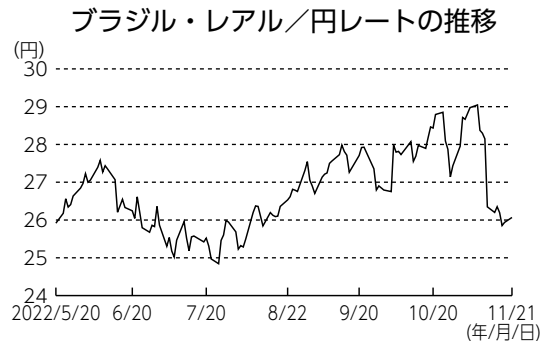
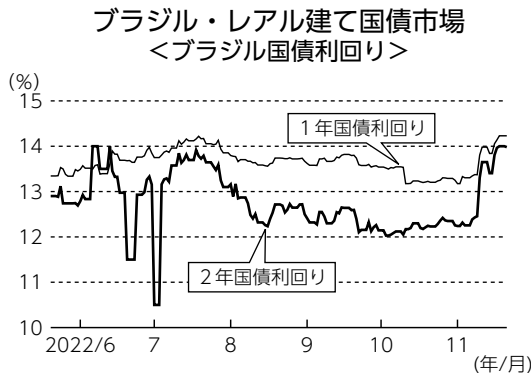
基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額の上昇要因は、組入れているマザーファンドの基準価額が値上がりしたことです。マザーファンドにおいては、為替市場におけるリアル高・円安の進行や組入債券からの利子収入などが、基準価額の主な上昇要因となりました。

投資環境について

当作成期、ブラジル・レアル建て国債利回り（以下「国債利回り」）は上昇（債券価格は下落）しました。作成期の序盤、ブラジル中央銀行（BCB）による金融引き締めなどを背景に国債利回りは上昇基調をたどりましたが、インフレ圧力の緩和に伴いBCBが2022年8月に利上げ幅を縮小、9月には利上げを休止すると、低下基調に転じました。また、10月の大統領選が市場の波乱要因として意識されていたものの、選挙戦前後で大きな混乱は生じず、国債利回りは概ね安定した動きを維持しました。しかし作成期の終盤、ルラ次期大統領による政策運営、特に財政悪化への警戒感が高まったため、国債利回りは作成期末にかけて急上昇しました。

ブラジル・レアルは対円で小幅に上昇しました。作成期の序盤、急速な金融引き締めに伴う世界経済の後退懸念や、資源価格の不安定な値動きなどが重石となり、ブラジル・レアルは下落基調で推移しました。8月以降は、日米の金融政策の違いから両国の金利差が拡大し、米ドル高・円安が一段と進んだ影響を受けて、ブラジル・レアルも対円で大きく上昇しました。しかし作成期末にかけては、ルラ次期政権下での財政悪化への懸念などからブラジル・レアルは急反落し、それまでの上昇分をほぼ相殺しました。



出所：リフィニティブのデータをもとに当社作成

ポートフォリオについて

当ファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主としてブラジル・リアル建債券に実質的に投資を行いました。なお、マザーファンド受益証券への投資比率は、作成期を通じて高位を維持しました。

マザーファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等の発行するブラジル・リアル建債券に投資し、ブラジル債券市場の動向に概ね連動させるように運用を行いました。

債券種別構成においては、インフレ連動債の比率をやや引き下げた一方で、割引債の組み入れを引き上げました。デュレーション*については、作成期末現在において作成期初比で概ね同水準としました。

*デュレーションとは、金利がある一定の割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示した感応度です。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの投資対象市場の値動きを示す適切な指数がないため、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

分配金について

当作成期の分配金は、配当等収益の水準等を勘案し、第165期から第170期まで1万口当たり5円（税引前）といたしました。分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(1万口当たり・税引前)

項目	第165期	第166期	第167期	第168期	第169期	第170期
	2022年5月21日～ 2022年6月20日	2022年6月21日～ 2022年7月20日	2022年7月21日～ 2022年8月22日	2022年8月23日～ 2022年9月20日	2022年9月21日～ 2022年10月20日	2022年10月21日～ 2022年11月21日
当期分配金	5円	5円	5円	5円	5円	5円
（対基準価額比率）	(0.114%)	(0.117%)	(0.111%)	(0.105%)	(0.101%)	(0.112%)
当期の収益	2円	5円	5円	5円	5円	5円
当期の収益以外	2円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	188円	227円	250円	283円	284円	510円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

投資環境の見通し

最近のブラジルの経済指標は強弱が混在していますが、7-9月期GDP成長率の伸びが前四半期から減速したほか、9月の経済活動指数が市場予想を下回るなど、これまでの金融引き締めにより経済成長は減速しつつあることがうかがえます。また、インフレ圧力は緩やかな緩和傾向にあると思われれます。政治面では、ルラ次期大統領が歳出上限の枠組みを超える財政出動を実施する方針を示唆したことで、財政悪化懸念が強まっており、新政権による財政政策を注視する必要があると考えます。

BCBによる利上げ休止などが支援材料となり、ブラジル債券市場には引き続き投資魅力があると考えます。不安定な市場環境が続いているものの、今後、世界経済を取り巻く逆風が緩和していくにつれて、ブラジル市場への資金流入は活発化していくと期待されます。ただし、ルラ次期大統領の政策運営に対する警戒感が広がる中、新政権の布陣が明らかになるまで、短期的にはボラティリティの高い状況が続くと予想されます。

当ファンドの今後の運用方針

引き続き、マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持します。

マザーファンドの今後の運用方針

主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等の発行するブラジル・リアル建債券に投資し、ブラジル債券市場の動向に概ね連動させるように運用を行います。

1万口当たりの費用明細

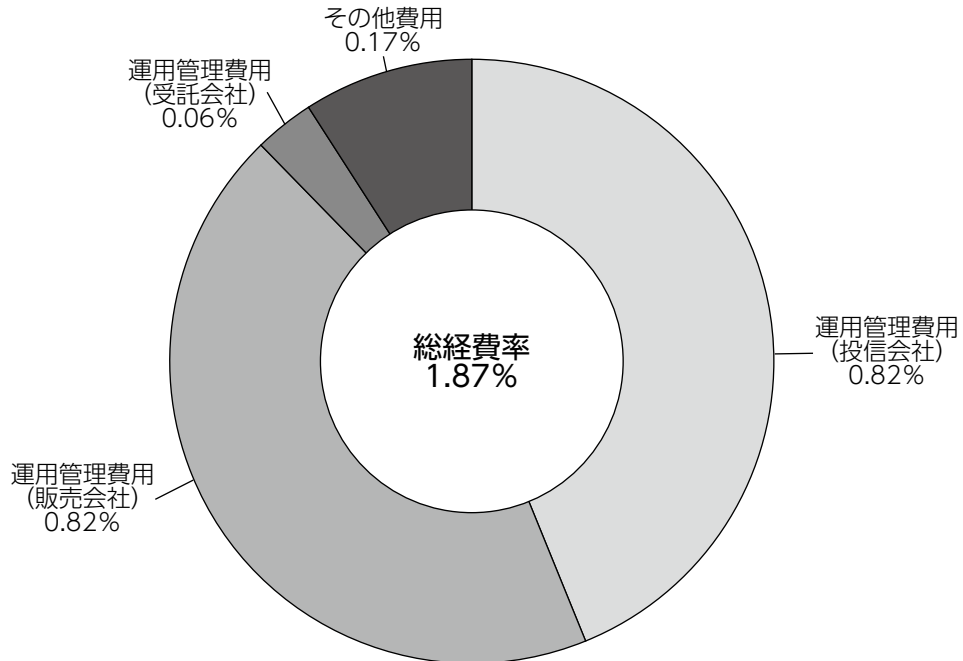
項目	第165期～第170期 2022/5/21～2022/11/21		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	39円	0.864%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は4,560円です。
（投信会社）	(19)	(0.418)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(19)	(0.418)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.028)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	4	0.084	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.071)	海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用
（監査費用）	(0)	(0.006)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	(0)	(0.006)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	(0)	(0.001)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	43	0.948	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報） 総経費率



(注1) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注2) 各比率は、年率換算した値です。

(注3) 上記の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.87%です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況（自 2022年5月21日 至 2022年11月21日）

	第 165 期 ~		第 170 期	
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
UBSブラジル・リアル債券マザーファンド	千□ 613	千円 1,000	千□ 785,136	千円 1,293,000

(注) 単位未満は切り捨て。

利害関係人等との取引状況等（自 2022年5月21日 至 2022年11月21日）

当作成期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

組入資産明細表**親投資信託残高**

(2022年11月21日現在)

項 目	第 28 作 成 期 末	第 29 作 成 期 末 (第 170 期 末)	
	□ 数	□ 数	評 価 額
UBSブラジル・リアル債券マザーファンド	千□ 6,147,958	千□ 5,363,434	千円 8,668,918

(注) □数・評価額の単位未満は切り捨て。

投資信託財産の構成

(2022年11月21日現在)

項 目	第29作成期末（第170期末）	
	評 価 額	比 率
UBSブラジル・リアル債券マザーファンド	8,668,918 千円	99.0 %
コール・ローン等、その他	88,176	1.0
投資信託財産総額	8,757,094	100.0

(注1) 金額の単位未満は切り捨て。

(注2) UBSブラジル・リアル債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（12,653,060千円）の投資信託財産総額（12,653,108千円）に対する比率は100.0%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは、1米ドル=140.36円、1ブラジル・リアル=26.0668円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年6月20日) (2022年7月20日) (2022年8月22日) (2022年9月20日) (2022年10月20日) (2022年11月21日)

項 目	第 165 期 末	第 166 期 末	第 167 期 末	第 168 期 末	第 169 期 末	第 170 期 末
(A) 資 産	9,538,084,337円	9,148,557,304円	9,552,354,812円	9,924,624,327円	9,886,614,917円	8,757,094,061円
コール・ローン等	50,278,717	45,992,922	46,573,275	50,543,489	48,112,732	45,175,122
UBSブラジル・リアル 債券マザーファンド(評価額)	9,433,805,620	9,063,564,382	9,449,781,537	9,826,080,838	9,801,502,185	8,668,918,939
未 収 入 金	54,000,000	39,000,000	56,000,000	48,000,000	37,000,000	43,000,000
(B) 負 債	56,424,508	39,947,854	55,497,721	48,425,173	36,386,211	43,870,108
未払収益分配金	10,786,411	10,669,270	10,539,787	10,392,786	10,005,365	9,729,166
未 払 解 約 金	31,327,740	16,105,495	30,475,792	24,671,266	12,620,541	19,820,639
未 払 信 託 報 酬	14,106,641	12,952,333	14,267,457	13,169,808	13,563,834	14,111,851
未 払 利 息	141	129	131	142	135	127
その他未払費用	203,575	220,627	214,554	191,171	196,336	208,325
(C) 純資産総額(A-B)	9,481,659,829	9,108,609,450	9,496,857,091	9,876,199,154	9,850,228,706	8,713,223,953
元 本	21,572,823,113	21,338,540,918	21,079,574,179	20,785,573,515	20,010,731,348	19,458,332,562
次期繰越損益金	△12,091,163,284	△12,229,931,468	△11,582,717,088	△10,909,374,361	△10,160,502,642	△10,745,108,609
(D) 受益権総口数	21,572,823,113口	21,338,540,918口	21,079,574,179口	20,785,573,515口	20,010,731,348口	19,458,332,562口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,395円	4,269円	4,505円	4,751円	4,922円	4,478円

(注1) 当ファンドの第165期首元本額は21,965,239,105円、第165～170期中追加設定元本額は36,110,925円、第165～170期中一部解約元本額は2,543,017,468円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第165期0.4395円、第166期0.4269円、第167期0.4505円、第168期0.4751円、第169期0.4922円、第170期0.4478円です。

(注3) 第170期末において純資産総額が元本を下回っており、その差額は10,745,108,609円です。

損益の状況

第165期（自2022年5月21日 至2022年6月20日）

第166期（自2022年6月21日 至2022年7月20日）

第167期（自2022年7月21日 至2022年8月22日）

第168期（自2022年8月23日 至2022年9月20日）

第169期（自2022年9月21日 至2022年10月20日）

第170期（自2022年10月21日 至2022年11月21日）

項目	第 165 期	第 166 期	第 167 期	第 168 期	第 169 期	第 170 期
(A) 配当等収益	△ 4,227円	△ 3,963円	△ 4,269円	△ 3,940円	△ 4,104円	△ 4,386円
支払利息	△ 4,227	△ 3,963	△ 4,269	△ 3,940	△ 4,104	△ 4,386
(B) 有価証券売買損益	147,640,420	△ 246,522,430	523,580,245	535,238,430	364,976,663	△ 841,755,678
売買益	152,424,717	1,800,971	526,608,232	539,299,267	373,999,812	6,671,459
売買損	△ 4,784,297	△ 248,323,401	△ 3,027,987	△ 4,060,837	△ 9,023,149	△ 848,427,137
(C) 信託報酬等	△ 14,310,216	△ 13,172,960	△ 14,482,011	△ 13,360,979	△ 13,760,170	△ 14,320,176
(D) 当期損益金(A+B+C)	133,325,977	△ 259,699,353	509,093,965	521,873,511	351,212,389	△ 856,080,240
(E) 前期繰越損益金	△ 3,289,091,818	△ 3,131,055,838	△ 3,358,799,128	△ 2,819,004,369	△ 2,220,077,578	△ 1,825,851,376
(F) 追加信託差損益金	△ 8,924,611,032	△ 8,828,507,007	△ 8,722,472,138	△ 8,601,850,717	△ 8,281,632,088	△ 8,053,447,827
(配当等相当額)	(45,498,234)	(45,097,873)	(44,695,532)	(44,260,074)	(42,727,615)	(41,664,583)
(売買損益相当額)	(△ 8,970,109,266)	(△ 8,873,604,880)	(△ 8,767,167,670)	(△ 8,646,110,791)	(△ 8,324,359,703)	(△ 8,095,112,410)
(G) 計(D+E+F)	△ 12,080,376,873	△ 12,219,262,198	△ 11,572,177,301	△ 10,898,981,575	△ 10,150,497,277	△ 10,735,379,443
(H) 収益分配金	△ 10,786,411	△ 10,669,270	△ 10,539,787	△ 10,392,786	△ 10,005,365	△ 9,729,166
次期繰越損益金(G+H)	△ 12,091,163,284	△ 12,229,931,468	△ 11,582,717,088	△ 10,909,374,361	△ 10,160,502,642	△ 10,745,108,609
追加信託差損益金	△ 8,924,611,032	△ 8,828,507,007	△ 8,722,472,138	△ 8,601,850,717	△ 8,281,632,088	△ 8,053,447,827
(配当等相当額)	(45,498,794)	(45,098,426)	(44,698,899)	(44,272,217)	(42,728,453)	(41,676,352)
(売買損益相当額)	(△ 8,970,109,826)	(△ 8,873,605,433)	(△ 8,767,171,037)	(△ 8,646,122,934)	(△ 8,324,360,541)	(△ 8,095,124,179)
分配準備積立金	360,536,528	440,985,866	484,155,358	544,317,515	526,138,637	950,759,472
繰越損益金	△ 3,527,088,780	△ 3,842,410,327	△ 3,344,400,308	△ 2,851,841,159	△ 2,405,009,191	△ 3,642,420,254

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 第165期計算期間末における費用控除後の配当等収益(4,424,341円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(45,498,794円)および分配準備積立金(366,898,598円)より分配対象収益は416,821,733円(10,000口当たり193円)であり、うち10,786,411円(10,000口当たり5円)を分配金額としております。

(注5) 第166期計算期間末における費用控除後の配当等収益(94,839,030円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(45,098,426円)および分配準備積立金(356,816,106円)より分配対象収益は496,753,562円(10,000口当たり232円)であり、うち10,669,270円(10,000口当たり5円)を分配金額としております。

(注6) 第167期計算期間末における費用控除後の配当等収益(58,974,267円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(44,698,899円)および分配準備積立金(435,720,878円)より分配対象収益は539,394,044円(10,000口当たり255円)であり、うち10,539,787円(10,000口当たり5円)を分配金額としております。

(注7) 第168期計算期間末における費用控除後の配当等収益(77,233,680円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(44,272,217円)および分配準備積立金(477,476,621円)より分配対象収益は598,982,518円(10,000口当たり288円)であり、うち10,392,786円(10,000口当たり5円)を分配金額としております。

(注8) 第169期計算期間末における費用控除後の配当等収益(11,248,401円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(42,728,453円)および分配準備積立金(524,895,601円)より分配対象収益は578,872,455円(10,000口当たり289円)であり、うち10,005,365円(10,000口当たり5円)を分配金額としております。

(注9) 第170期計算期間末における費用控除後の配当等収益(448,250,505円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(41,676,352円)および分配準備積立金(512,238,133円)より分配対象収益は1,002,164,990円(10,000口当たり515円)であり、うち9,729,166円(10,000口当たり5円)を分配金額としております。

分配金のお知らせ

	1万口当たり分配金
第 165 期	5円
第 166 期	5円
第 167 期	5円
第 168 期	5円
第 169 期	5円
第 170 期	5円

- ◇分配金をお支払いする場合
分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。
- ◇分配金を再投資する場合
お手持り分配金は、決算日の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。
- ◇分配金の区分について
 - ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。
 - ・分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ◇税金について
分配金は普通分配金に課税され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率が適用されます。
- ◇2020年1月1日以降の分配時において、外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

<約款変更のお知らせ>

当ファンドは、2023年11月20日に信託期間の終了を迎える予定でしたが、引き続き受益者に投資機会を提供できるよう信託期間を5年間延長し、信託期間終了日を2028年11月20日とする約款変更を行いました。（約款変更実施日：2022年8月20日）

UBSブラジル・リアル債券マザーファンド

第14期（2022年11月21日決算）

（計算期間：2021年11月23日～2022年11月21日）

《運用報告書》

受益者のみなさまへ

「UBSブラジル・リアル債券マザーファンド」は、＜UBSブラジル・リアル債券投信（毎月分配型）＞が投資対象とする親投資信託で、信託財産の実質的な運用を行っております。

ここにマザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

*当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	この投資信託は、主としてブラジルの債券に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。
主な運用対象	ブラジルの政府、政府機関もしくは企業等の発行する現地通貨建債券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。（ただし、転換社債の転換請求等により取得した株券に限ります。） 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号
Otemachi Oneタワー

＜お問い合わせ先＞

投信営業部

03-5293-3700

＜受付時間＞

営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く

<http://www.ubs.com/japanfunds>

UBSブラジル・リアル債券マザーファンド

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債券組入率 比	債券先物率 比	純資産額
		騰	落			
10期 (2018年11月20日)	円 14,511	% △	5.3	% 99.0	% -	百万円 44,565
11期 (2019年11月20日)	13,820	△	4.8	99.0	-	30,236
12期 (2020年11月20日)	10,885	△	21.2	98.8	-	15,878
13期 (2021年11月22日)	11,476		5.4	96.4	-	12,682
14期 (2022年11月21日)	16,163		40.8	99.2	-	12,569

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		債券組入率 比	債券先物率 比
	騰	落		
(期首) 2021年11月22日	円 11,476	% -	% 96.4	% -
11月末	11,495	0.2	96.3	-
12月末	11,569	0.8	96.2	-
2022年 1月末	12,350	7.6	95.8	-
2月末	13,010	13.4	96.1	-
3月末	15,055	31.2	95.6	-
4月末	15,679	36.6	96.0	-
5月末	16,012	39.5	99.5	-
6月末	15,743	37.2	99.6	-
7月末	15,624	36.1	99.0	-
8月末	16,555	44.3	97.6	-
9月末	16,570	44.4	101.2	-
10月末	17,478	52.3	99.5	-
(期末) 2022年11月21日	16,163	40.8	99.2	-

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

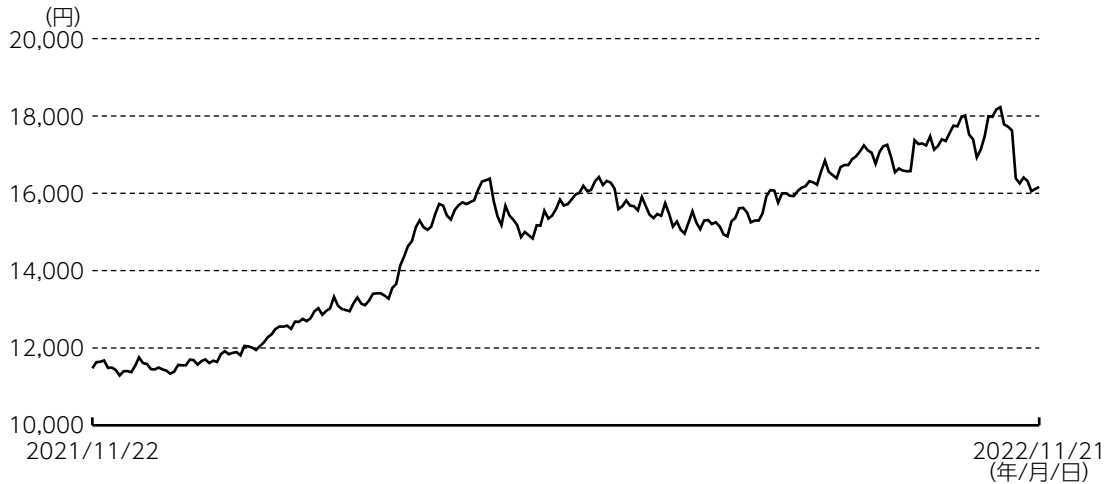
(注3) 当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

(注4) 債券組入率は、当ファンドの追加・解約と有価証券売買の計上タイミングがずれること等により、一時的に100%超の数値となる場合があります。

運用経過

基準価額の推移について

(2021年11月22日～2022年11月21日)



当期の基準価額は4,687円値上がりしました。なお、基準価額の騰落率は+40.8%となりました。

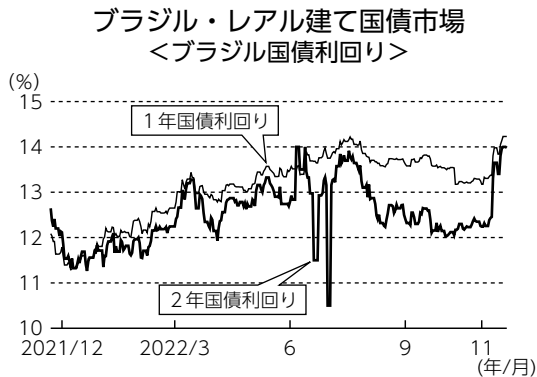
基準価額の主な変動要因

基準価額は、為替市場におけるリアル高・円安の進行に加え、組入債券からの利子収入もプラスに作用し、前期末比で大きく上昇しました。

投資環境について

当期、ブラジル・リアル建て国債利回り（以下「国債利回り」）は上昇（債券価格は下落）しました。インフレ圧力の高まりを背景にブラジル中央銀行（BCB）が金融引き締めを積極的に進めた環境下、国債利回りは期の序盤から上昇基調をたどりました。その後、インフレ圧力の緩和に伴いBCBが2022年8月に利上げ幅を縮小、9月には利上げを休止したことを受けて、国債利回りは低下基調に転じました。また、10月の大統領選が市場の波乱要因として意識されていましたが、選挙戦前後で大きな混乱は生じず、国債利回りは概ね安定した動きを維持しました。しかし期の終盤、ルラ次期大統領による政策運営、特に財政悪化への警戒感が高まったため、国債利回りは期末にかけて急上昇しました。

ブラジル・リアルは対円で大幅に上昇しました。世界的に金融引き締めが進む中で日銀は金融緩和政策を維持し、金利差拡大を背景に円への売り圧力が強まったことから、2022年3月以降、ブラジル・リアルは上昇基調をたどりました。その後、急速な金融引き締めに伴う世界経済の後退懸念や、資源価格の不安定な値動き、そして期末にかけてはルラ次期政権下での財政悪化への懸念などからブラジル・リアルへの売り圧力が強まる局面もありましたが、期を通して見るとブラジル・リアル高が大きく進行しました。



出所：リフィニティブのデータをもとに当社作成

ポートフォリオについて

主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等の発行するブラジル・リアル建て債券に投資し、ブラジル債券市場の動向に概ね連動させるように運用を行いました。

期末現在において、デュレーション*については期初比で概ね同水準、組入銘柄については国庫金融債の投資比率を引き上げ、インフレ連動債の投資比率を引き下げました。

*デュレーションとは、金利がある一定の割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示した感応度です。

ベンチマークとの差異について

投資対象市場の値動きを示す適切な指数がないため、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

今後の運用方針

投資環境の見通し

最近のブラジルの経済指標は強弱が混在していますが、7-9月期GDP成長率の伸びが前四半期から減速したほか、9月の経済活動指数が市場予想を下回るなど、これまでの金融引き締めにより経済成長は減速しつつあることがうかがえます。また、インフレ圧力は緩やかな緩和傾向にあると思われれます。政治面では、ルラ次期大統領が歳出上限の枠組みを超える財政出動を実施する方針を示唆したことで、財政悪化懸念が強まっており、新政権による財政政策を注視する必要があると考えます。

BCBによる利上げ休止などが支援材料となり、ブラジル債券市場には引き続き投資魅力があると考えます。不安定な市場環境が続いているものの、今後、世界経済を取り巻く逆風が緩和していくにつれて、ブラジル市場への資金流入は活発化していくと期待されます。ただし、ルラ次期大統領の政策運営に対する警戒感が広がる中、新政権の布陣が明らかになるまで、短期的にはボラティリティの高い状況が続くと予想されます。

今後の運用方針

主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等の発行するブラジル・リアル建債券に投資し、ブラジル債券市場の動向に概ね連動させるように運用を行います。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2021/11/23~2022/11/21		項目の概要
	金額	比率	
その他費用 (保管費用)	19円 (19)	0.127% (0.127)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用 海外の税務手続きに関する費用等
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	19	0.127	

※期中の平均基準価額は14,761円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

期中の売買及び取引の状況 (自 2021年11月23日 至 2022年11月21日)

公社債

		買付額	売付額
外国		千ブラジル・リアル	千ブラジル・リアル
	ブラジル		
	国債証券	149,987	213,040 (94,416)

(注1) 金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) () 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

主要な売買銘柄 (自 2021年11月23日 至 2022年11月21日)**公社債**

買		付	売		付
銘柄	柄	金額	銘柄	柄	金額
		千円			千円
BRAZIL NTN-F 10%	29/1/1(ブラジル)	686,955	BRAZIL-LTN 0%	22/7/1(ブラジル)	718,476
BRAZIL-LFT /FRN 28/9/1(ブラジル)		611,464	BRAZIL NTN-B 6%	24/8/15(ブラジル)	683,858
BRAZIL NTN-B 6%	23/5/15(ブラジル)	570,858	BRAZIL-LFT /FRN 23/3/1(ブラジル)		675,384
BRAZIL-LFT /FRN 27/9/1(ブラジル)		546,941	BRAZIL-LTN 0%	22/1/1(ブラジル)	609,026
BRAZIL-LTN 0%	25/7/1(ブラジル)	402,407	BRAZIL NTN-F 10%	25/1/1(ブラジル)	587,486
BRAZIL-LTN 0%	24/7/1(ブラジル)	283,463	BRAZIL NTN-F 10%	23/1/1(ブラジル)	359,725
BRAZIL-LTN 0%	25/1/1(ブラジル)	278,637	BRAZIL NTN-B 6%	22/8/15(ブラジル)	250,996
BRAZIL-LTN 0%	23/7/1(ブラジル)	145,464	BRAZIL-LFT /FRN 22/9/1(ブラジル)		245,916
BRAZIL NTN-B 6%	25/5/15(ブラジル)	140,073	BRAZIL NTN-B 6%	23/5/15(ブラジル)	237,581
BRAZIL NTN-B 6%	28/8/15(ブラジル)	129,462	BRAZIL NTN-F 10%	27/1/1(ブラジル)	227,542

(注1) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 国内の現先取引によるものは含まれておりません。

利害関係人等との取引状況等 (自 2021年11月23日 至 2022年11月21日)

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

組入資産明細表 (2022年11月21日現在)

外国(外貨建)公社債

①種類別開示

区 分	当 期			末				
	額 面 金 額	外貨建評価額	邦貨建評価額	組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入れ比率		
						5年以上	2年以上	2年未満
ブラジル	千ブラジル・レアル 218,335	千ブラジル・レアル 478,576	千円 12,474,964	% 99.2	% 99.2	% 11.7	% 42.1	% 45.5
合 計	218,335	478,576	12,474,964	99.2	99.2	11.7	42.1	45.5

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) -印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

②個別銘柄開示

銘 柄 名	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(ブラジル)	%	千ブラジル・レアル	千ブラジル・レアル	千円	
国債証券					
BRAZIL NTN-B 6%	6	3,200	12,756	332,519	2023/5/15
BRAZIL NTN-B 6%	6	3,290	13,111	341,784	2024/8/15
BRAZIL NTN-B 6%	6	4,600	18,193	474,258	2025/5/15
BRAZIL NTN-B 6%	6	4,600	18,503	482,326	2026/8/15
BRAZIL NTN-B 6%	6	1,500	6,018	156,880	2028/8/15
BRAZIL NTN-F 10%	10	24,200	23,533	613,439	2025/1/ 1
BRAZIL NTN-F 10%	10	46,600	43,514	1,134,292	2027/1/ 1
BRAZIL NTN-F 10%	10	29,700	26,771	697,849	2029/1/ 1
BRAZIL-LFT /FRN	-	2,595	32,287	841,631	2023/3/ 1
BRAZIL-LFT /FRN	-	4,700	58,478	1,524,341	2023/9/ 1
BRAZIL-LFT /FRN	-	3,600	44,786	1,167,434	2024/3/ 1
BRAZIL-LFT /FRN	-	1,500	18,658	486,369	2024/9/ 1
BRAZIL-LFT /FRN	-	500	6,216	162,041	2025/3/ 1
BRAZIL-LFT /FRN	-	1,800	22,328	582,030	2026/3/ 1
BRAZIL-LFT /FRN	-	1,350	16,688	435,011	2027/3/ 1
BRAZIL-LFT /FRN	-	2,300	28,381	739,815	2027/9/ 1
BRAZIL-LFT /FRN	-	1,900	23,413	610,308	2028/9/ 1
BRAZIL-LTN 0%	-	17,700	16,318	425,364	2023/7/ 1
BRAZIL-LTN 0%	-	10,000	8,618	224,660	2024/1/ 1
BRAZIL-LTN 0%	-	18,000	14,563	379,612	2024/7/ 1
BRAZIL-LTN 0%	-	13,500	10,262	267,511	2025/1/ 1
BRAZIL-LTN 0%	-	21,200	15,171	395,480	2025/7/ 1
合 計	-	-	-	12,474,964	-

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

投資信託財産の構成

(2022年11月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 12,474,964	% 98.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	178,144	1.4
投 資 信 託 財 産 総 額	12,653,108	100.0

(注1) 金額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (12,653,060千円) の投資信託財産総額 (12,653,108千円) に対する比率は100.0%です。

(注3) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=140.36円、1ブラジル・リアル=26.0668円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年11月21日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	12,736,108,254円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	178,143,639
公 社 債(評価額)	12,474,964,615
未 収 入 金	83,000,000
(B) 負 債	166,457,605
未 払 金	83,457,605
未 払 解 約 金	83,000,000
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	12,569,650,649
元 本	7,776,853,621
次 期 繰 越 損 益 金	4,792,797,028
(D) 受 益 権 総 口 数	7,776,853,621口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	16,163円

〈注記事項〉

期首元本額	11,051,748,369円
期中追加設定元本額	61,406,532円
期中一部解約元本額	3,336,301,280円
1 口 当 た り 純 資 産 額	1.6163円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

UBSブラジル・リアル債券投信 (毎月分配型)	5,363,434,350円
UBSブラジル・リアル債券投信 (年2回決算型)	2,413,419,271円

損益の状況

(自2021年11月23日 至2022年11月21日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,363,403,748円
受 取 利 息	1,363,412,608
支 払 利 息	△ 8,860
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	3,335,182,990
売 買 益	3,510,430,318
売 買 損	△ 175,247,328
(C) 信 託 報 酬 等	△ 17,433,736
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	4,681,153,002
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,630,749,278
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	35,593,468
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 1,554,698,720
(H) 計 (D+E+F+G)	4,792,797,028
次 期 繰 越 損 益 金(H)	4,792,797,028

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。